

# 下水道排水設備工事の手引き

阪南市下水道課

# 1 排水設備工事の流れ

\* 阪南市下水道条例施行規則を参照。

## 1-1 流れ

- 1 工事の見積・申込 → 1-2 融資あっせん制度を参照。
- 2 工事の契約
  - \* 適正な価格で契約し、支払い方法等を確認すること。
- 3 工事の申請
  - \* 排水設備等計画確認申請書（様式第1号）を工事着工前に提出すること。（記入例参照）
- 4 書類検査
  - \* 適正な設計かどうかを審査。基準に満たない場合は、変更を指示する。
- 5 確認書の交付
  - \* 排水設備等計画確認書（様式第2号）を交付する。
- 6 工事の施工・完了
  - \* 工事の施工は必ず阪南市が確認した後とする。
- 7 工事完了届の提出
  - \* 排水設備等工事完了届（様式第3号）を工事完了後、5日以内に提出すること。
  - \* 改造の場合は汲み取り（浄化槽）廃止届を必ず提出すること。別紙様式参照。
- 8 完了検査
  - \* 市が設計書通りの施工がどうかを検査する。
  - 不合格の場合は早急に手直しをすること。
- 9 検査済証の交付
  - \* （排水設備）検査済証（様式第4号）を交付する。
- 10 使用開始届の提出
  - \* 公共下水道使用開始届（様式第8号）を提出すること。
  - 原則、検査日より下水道使用料を賦課する。
- 11 使用開始
  - \* 使用者変更があった場合、公共下水道使用者変更届（様式第9号）を提出すること。

## 1-2 水洗便所改造資金融資あっせん制度

改造工事の際、排水設備工事の費用を、市が指定金融機関に融資斡旋するものである。

詳細は、別紙資料及び阪南市水洗便所改造資金融資あっせん要綱を参照すること。

## 2 排水設備工事の設計

### 2-1 設計上必要な調査

- 1 公共下水道の供用開始区域であるかの確認。
- 2 公共汚水樹の確認
  - \* 樹が確認できなければ、市に問い合わせること。
- 3 所有権等の権利関係
- 4 既設の排水設備の確認
  - \* 場合によっては、手直しが必要
- 5 建築の規模と用途
- 6 公共汚水樹までの勾配
- 7 管径、管の埋設深、管の位置等
- 8 民地内埋設物
- 9 受益者負担金の確認
- 10 その他

### 2-2 設計図の作成

排水設備等計画確認申請書に、記入方法の表を参照に設計図を記入し、付近見取り図（施工場所を赤色で明記）2部を添付して、提出すること。

- \* 汚水計画は朱色、雨水計画は青色、既設は破線で示すこと。
- \* 縮尺は1/100以上とする。
- \* 申請書に記入できない時は別途図面を添付すること。
- \* 集合住宅、開発工事、その他、市から指示のある場合は、縦断図、構造図等も提出すること。

### 2-3 計画下水量

大規模な工事の場合は、流速、流量計算等を実施すること。  
標準流速は、1.0m/秒とする。

- \* 阪南市は分流式であるので、雨水の排除方法を十分考慮すること。
- \* 設計は、施工の基本となるため、慎重に実施すること。

### 3 排水設備の構造基準

#### 3-1 排水管

排水管は、暗渠とし、下記を参考に選定すること。

ただし、雨水を排除する場合は、開渠としてもよい。

##### (1) 種類

汚水用、雨水用を問わず、不浸透耐久性の材料を使用。

陶管、鉄筋コンクリート管、硬質塩化ビニル管を使用のこと。

##### (2) 大きさ

阪南市下水道条例で、下記の表のとおり、定められている。

#### ア 汚水管渠（条例第3条第3号）

排水人口	排水管の内径
150人未満	100mm以上
150人以上300人未満	150mm以上
300人以上600人未満	200mm以上
600人以上	250mm以上

#### イ 雨水管渠（条例第3条第4号）

排水面積	排水管の内径
200㎡未満	100mm以上
200㎡以上600㎡未満	150mm以上
600㎡以上	200mm以上

ウ 枝管の内径（規則第3条第2号）

枝 管 の 種 別	内 径
小便器、手洗器及び洗面器の接続管	50mm以上
浴槽（家庭用）及び炊事場の接続管	75mm以上
大便器の接続管	100mm以上

（3） 勾 配

勾配は下記通りである。

エ 汚水管（規則第3条第1号）

排水管渠の内径又は内のり	勾 配
100mm以上150mm未満	2.0／100以上
150mm以上200mm未満	1.5／100以上
200mm以上250mm未満	1.2／100以上
250mm以上	1.0／100以上

オ 雨水管（下水道排水設備指針）

排 水 面 積	勾 配
200㎡未満	2.0／100以上
200㎡以上400㎡未満	1.7／100以上
400㎡以上600㎡未満	1.5／100以上
600㎡以上1500㎡未満	1.2／100以上
1500㎡以上	1.0／100以上

- \* 排水管の土かぶりは、原則として20 cm以上とする。
- \* 勾配等がどうしてもとれない場合は、別途市と協議すること。

### 3-2 宅内樹

#### (1) 樹の設置場所

- 1 排水管の起点、終点、会合点、屈曲点
- 2 管渠の内径、勾配、管種が異なる所
- 3 直線部においては、管径の120倍以下の間隔

\* 下記の表を参照。

内 径 (mm)	100	125	150	200	250
最大間隔 (m)	12	15	18	24	30

#### (2) 大きさ・構造及び形状

内径は原則として30 cm以上で、円形又は角形とし、  
深さは原則として30 cm以深で、下記の通りとする。

種	別	樹の内 のり
1 種	排水管渠の内径又は内 のりが、 200 mm以下で、管底と地表面 との差が800 mmまでのとき	300 mm 以上 * 小口径も可
2 種	排水管渠の内径又は内 のりが、 200 mm以下で、管底と地表面 との差が800 mmを越えるとき	400 mm 以上
3 種	排水管渠の内径又は内 のりが、 200 mmを越えるとき	450 mm 以上
4 種	排水管渠の内径又は内 のりが、 400 mmをこえるとき	600 mm 以上

- \* 雨水樹には、泥だめを設置すること。
- \* 汚水樹には、管渠の内径に応じたインバートを設置すること。

### (3) 特殊樹

#### 1 トラップ樹

排水設備用の器具に防臭トラップを設置できない場合に、防臭等用に設置する。

したがって、器具と樹の二重トラップは禁止する。

#### 2 ドロップ樹

管の会合点で、上流、下流の管底高に著しい段差がある場合に設置する。

\* 落差について十分考慮すること。

#### 3 清掃口(点検孔)

樹の設置が困難な場合に設置するが、清掃用具が容易に使用できるように考慮すること。

\* 樹の蓋は、汚水の場合は必ず密封とすること。

## 4 排水設備施工上の注意

施工の際は、下記について、十分考慮すること。

### 4-1 便槽処理

既設汲み取り便所の改造については、最終汲み取り終了後施工すること。

その際、必ず「くみ取り廃止届」を提出のこと。

### 4-2 浄化槽切替工事

浄化槽の改造については、埋め戻す方法と撤去する方法があるが、施主の希望によるものとする。

その際、必ず「浄化槽廃止届」を提出すること。

\* 上記4-1, 4-2について、し尿汲み取り業者への最終汲み取りの連絡は、排水設備工事の許可がおりた後で、工事にかかる4日から5日前までにすること。

### 4-3 その他の注意

- 1 資材等はJIS等の規格にあったものを使用すること。
- 2 復旧は原則として、現状復旧とし、施主と十分協議すること。
- 3 埋め戻しについては、沈下等の起こらないように注意すること。
- 4 既設設備利用の際は、十分注意すること。
- 5 騒音、振動等の公害防止に努めること。
- 6 安全管理の徹底をすること。
- 7 残土等を路上に放置せず、清掃等に注意すること。
- 8 当初設計と施工内容が異なる場合は、施主、本市と十分協議し、変更竣工図面を作成のこと。
- 9 完成後、アフターケアを十分実施すること。

#### 10 その他

ディスポージャーの使用禁止  
通気、排水槽等の使用 等